

令和3年2月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和3年2月19日（金）
- 開 会 午前 9時30分
閉 会 午前 11時00分
- 2 会 場 茅野市役所 8階大ホール
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢島喜久雄
教育委員 濱 勝之 教育委員 永嶋 陽子
教育委員 勅使川原 はすみ
- 出席者 こども部長 有賀 淳一 生涯学習部長 北沢 政英
建設課長 黒澤 俊彦 こども課長 五味留美子
幼児教育課長 柳澤 澄子 学校教育課長 五味 正
生涯学習課長 藤森 隆 文化財課長 五味 健志
スポーツ健康課長 中村 浩明 都市計画係長 鎌倉 亮
教育総務係長 立石 淳二 生涯学習係長 河西 茂廣
教育総務係主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 4名

教育委員会 2 月定例会次第

日時 令和 3 年 2 月 1 9 日（金）午前 9 時 3 0 分から

場所 市役所 8 階大ホール

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）市議会 3 月定例会一般質問について

（2）市議会 3 月定例会に提出される予定の議案について

（3）茅野市教育委員会保育所管理規則の一部を改正する規則について

（4）茅野市教育委員会公印規定の一部改正について

（5）文化財の指定について

（6）参議院長野県選出議員補欠選挙に伴う施設の臨時休館について

5 検討事項

（1）今回はありません

6 その他

（1）臨時教育委員会の開催について

- (2) 永明小学校永明中学校建替え事業の進捗状況について
- (3) 民法の一部改正に伴う成人式のあり方について
- (4) その他

次回定例教育委員会日程について

	3月26日(金)	9時30分「8階大ホール」
(事務局会議	3月10日(水)	8時45分「602会議室」)

7 閉会

教育長

只今から2月定例教育委員会を開催します。

前回1月の会議録承認について確認をさせていただきます。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございます。

報告事項に入ります。報告事項第1号をご覧ください。

1日から8日にかけて校長先生との面談等を行いました。

9日に総合教育会議がありました。教育委員の皆様ご出席ありがとうございました。

15日に茅野市、茅野警察署、日本郵便株式会社茅野市内郵便局との包括連携の調印式がありました。教育委員会関係では子どもの健全育成、市全体としてはまちづくりについて連携していくことを調印しました。郵便局の方とお話で、読書活動に興味を持っていたいており、子どもへの教育に対して非常に好意的でした。

16日に幼保小まとめの会がありました。奈須先生の講演を受けさせていただきました。奈須先生も中教審答申とほぼ同じ方向で執筆をされています。

17日に地域文化創造取締役会がありました。同日に文化審の答申がありました。後ほど説明します。

18日に南信電気様より保育園・幼稚園に対して鉛筆と消しゴムを贈呈していただきました。

19日の午前中に予算発表がありました。

22日に新地域公共交通検討会議があります。

24日に議会開会となります。

報告は以上となります。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から2月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項についてご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

ありがとうございました。

次に議案第1号「市議会3月定例会一般質問について」をお願いします。

こども部長

議案第1号の資料をご覧ください。

令和3年3月定例会一般質問通告一覧についてですが、教育委員会に関連するものとして6人の議員さんから8問のご質問をいただいています。

発言順序3番の矢島正恒議員より小中学校におけるICT教育の推進について、3点のご質問をいただきました。

1点目が、小中学校におけるICT教育の現状について。

2点目が、1人1台タブレット端末や通信ネットワーク環境の整備状況と今後の活用について。

3点目がICT化に伴う教職員等の支援体制についてです。

続いて、発言順序4番の小尾一郎議員よりタブレット・スマホがもたらす学習への効果と心身への影響について、3点のご質問をいただきました。

1点目がタブレット・スマホがもたらす学習への効果について。

2点目がタブレット・スマホがもたらす心身への影響について。

3点目がタブレット・スマホ活用上の現時点での課題とその対策についてです。

生涯学習部長

続いて、生涯学習部関係についてですが、発言順序6番の両角実晃議員より茅野市運動公園国際スケートセンター（NAO ice OVAL）の施設の充実と利用者増加に向けての取組について、3点のご質問をいただきました。

- 1点目がNAO ice OVALの利用者減少の課題について。
- 2点目が利用者増加に向けての取組について。
- 3点目がNAO ice OVALの施設老朽化を改善する取組についてです。

こども部長

続いて、同じく両角実晃議員より学校の働き方改革を踏まえた部活動の地域移行への考えを受け、市としての対応についてご質問をいただきました。内容としましては、市としての今後の対応についてです。

続いて、発言順序8番の竹内巧議員から公共施設におけるランニングコスト削減策についてご質問をいただきました。こちらは市全体に対しての質問となりますが、この内、永明小学校永明中学校建替えにおいて検討しているランニングコストの削減策についてという内容が教育委員会に関係する質問となっております。

続いて、発言順序10番の吉田基之議員からコロナ禍での教育現場のデジタル化への対応と子どもへの影響について、6点のご質問をいただきました。

- 1点目が教育現場のデジタル化への対応状況について。
- 2点目が先生や親へのデジタル化の支援について。
- 3点目が中学校のスマホ持ち込みについて。
- 4点目が先生のマスク着用による子どもへの影響について。
- 5点目が昨年の休校による学習への遅れへの対応について。
- 6点目が生活困窮家庭への子どもへの学習支援についてです。

続いて、発言順序14番の木村かほり議員よりコロナ禍でのこども支援、不登校支援について、4点の質問をいただいています。

- 1点目が2020年の子どもや家庭の相談と支援について。
- 2点目が不登校支援への体制について。
- 3点目が民間との連携の方法について。
- 4点目が地域の子どもの居場所についてです。

同じく木村かほり議員から茅野市における自然保育への考え方について、2点のご質問をいただきました。

- 1点目が茅野市のやま保育認定への考え方について。
- 2点目が自然保育の取組への可能性についてです。

議案第1号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次に議案第 2 号「市議会 3 月定例会に提出される予定の議案について」をお願いします。

こども部長

議案第 2 号の資料をご覧ください。

令和 3 年茅野市市議会 3 月定例会議案について、ご覧のとおり議案が 22 件、報告が 1 件となっております。

このうち教育委員会に関連するものとして、議案第 12 号の令和 2 年度茅野市一般会計補正予算についてと、議案第 13 号の令和 3 年茅野市一般会計予算についてです。

議案第 12 号についてご説明します。1 ページをご覧ください。

第 1 条で歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 254,924 千円を追加し、歳入歳出それぞれ 32,837,620 千円とするものです。

第 2 条で繰越明許費の補正。

第 3 条で地方債の補正をお願いしますものです。

16 ページをご覧ください。民生費において、83,000 千円の補正減をお願いしますものです。教育委員会に関係するものとしては、2 項 2 目事業 2 保育所運営費で 43,000 千円の補正減です。当初雇用を見込んでいた会計年度任用職員が雇用できなかったことや、緊急事態宣言に伴う登園自粛による給食提供数が減少したことにより減額するものです。

続いて、22 ページをご覧ください。10 款教育費で 29,600 千円の補正増をお願いしますものです。2 項 1 目事業 2 小学校運営費で 6,720 千円の増、同項 2 目事業 1 小学校教育事務費で 2,880 千円の補正増です。この 2 事業につきましては、国の令和 2 年度第 3 次補正予算に計上されました、感染症対策等の学校教育活動支援事業を活用し、小学校における感染症対策を実施するために必要な経費を予算計上するものです。小学校運営費に備品購入費、小学校教育事務費に消耗品費を計上しています。特定財源として国の小学校保健特別対策事業費補助金を小学校運営費に 3,360 千円、小学校教育事務費に 1,440 千円を充当するものです。

続いて、同項 1 目事業 4 小学校施設整備費において 5,100 千円の増となります。国の令和 2 年度第 3 次補正予算に伴い、令和 3 年度に実施を予定していた北山小学校トイレ洋式化工事を前倒して実施することとしたため、関係経費を補正予算計上するものです。特

定財源としまして、国の学校施設環境改善交付金で 1,382 千円及び学校教育施設等整備事業債で 3,600 千円を充当するものです。合わせまして、当初予算では公共施設整備基金繰入金 8,030 千円の繰入を予定していましたが、基金の取り崩しをやめ、一般財源で賄うよう財源振替を行うものです。

次の中学校費は小学校費と同様の理由での補正増となります。3 項 1 目事業 1 中学校運営費で 3,080 円の増、同項 2 目事業 1 中学校教育事務費で 1,320 千円の増です。補正理由につきましては、小学校と同様の理由です。特定財源としまして、国の中学校保健特別対策事業費補助金を中学校運営費に 1,540 千円、中学校教育事務費に 660 千円を充当するものです。

続いて、同項 1 目事業 3 中学校施設整備費で 10,500 千円の補正増となります。補正理由につきましては、小学校費と同様で令和 3 年度以降に実施を予定しておりました、北部中学校及び東部中学校のトイレ洋式化工事を前倒して行うこととなったため、関係経費を補正予算計上するものです。特定財源としまして国の学校施設環境改善交付金で 2,870 千円及び学校教育施設等整備事業債で 7,400 千円を充当するものです。合わせて、当初予算では公共施設整備基金 53,190 千円の繰入を予定していましたが、基金の取り崩しをやめ、一般財源で賄うよう財政振替を行うものです。

次に 5 項 10 目事業 3 考古館施設管理費は財源振替となります。当初予算では公共施設整備基金繰入金から 410 千円の繰入を予定していましたが、基金の取り崩しをやめ、一般財源で賄うよう財源振替を行うものです。

次に 24 ページをご覧ください。6 項 2 目事業 4 スポーツ施設整備事業費は財源振替となります。当初予算では公共施設整備基金繰入金 42,370 千円の繰入を予定していましたが、基金の取り崩しをやめ、一般財源で賄うよう財源振替を行うものです。

以上が歳出となります。

12 ページをご覧ください。歳入について説明させていただきます。

11 款地方交付税が 122,621 千円の増。15 款国庫支出金が 44,203 千円の増。16 款県移出金が 6,300 千円の減。14 ページをご覧ください。19 款繰入金が 104,000 千円の減。22 款市債が 198,400 千円の増となります。以上が歳入についてとなります。

6 ページをご覧ください。第 2 表繰越明許費補正についてです。

20 事業で合計 316,176 千円の繰越をお願いするものです。教育委員会に関連するものとしましては、表下から 6 番目の小学校運営費から中学校教育事務費までの 6 事業になります。国の令和 2 年度第 3 次補正予算を受け、3 月補正で予算計上しました。さきほどご説明させていただきました内容になります。年度内に事業が完了しないため、繰越明許をお願いするものです。

次に 7 ページをご覧ください。第 3 表地方債補正で追加が 5 件、変更が 5 件となります。教育委員会に関係するものは、小学校施設整備事業にかかる地方債で限度額を 3,600 千円とするものです。

続いて中学校施設整備事業にかかる地方債で限度額を 7,400 千円とするものです。

以上が議案第 12 号となります。

次に議案第 13 号についてですが、お手元に令和 3 年度茅野市一般会計予算書が用意されていますので、内容についてご確認いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

議案第 2 号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

勅使川原委員

さきほどの説明でありましたが、基金からの繰入をしなくても一般財源で賄えるようになった理由を教えてください。

こども部長

この内容につきましては、財政課の管轄となりますが、事業を実施していく中で予算の残額のみで賄えるようになったものと理解しています。また、臨時特別交付金等もありましたので、そうした中で基金の取り崩しが不要になったことも考えられます。

教育長

ありがとうございました。

議案のとおり承認してよろしいですか。

全委員

異議なし。

教育長

次に議案第 3 号「茅野市教育委員会保育所管理規則の一部を改正する規則について」をお願いします。

幼児教育課長

議案第 3 号の資料をご覧ください。茅野市教育委員会保育所管理規則の一部を改正する規則についてです。

2 ページをご覧ください。茅野市笹原保育園が民営化することに伴いまして、別表中の茅野市笹原保育園を削除し、同表備考を削る改正となっています。

この規則につきましては、令和 3 年 4 月 1 日から施行となります。

議案第 3 号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

議案のとおり改正することに異議ありませんか。

全委員

異議なし。

教育長

次に議案第 4 号「茅野市教育委員会公印規則の一部改正について」お願いします。

幼児教育課長

議案第 4 号の資料をご覧ください。茅野市教育委員会公印規程の一部を次のように改正するものです。

茅野市笹原保育園が民営化することに伴い、別表中の保育園長の印、茅野市笹原保育園の印を削除するものです。

この訓令につきましては、令和 3 年 4 月 1 日から施行となります。

議案第 4 号については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

議案のとおり改正することに異議ありませんか。

全委員

異議なし。

教育長

次に議案第 5 号「文化財の指定について」お願いします。

文化財課長

議案第 5 号の資料をご覧ください。

茅野市の文化財指定について、1 月の定例教育委員会で神長官守矢邸跡を史跡に指定することについて茅野市文化財審議委員会に諮問することを決定していただきました。

1 月 28 日に文化財審議委員会へ諮問をし、規則に定める指定基準により審査していただきました。

2月16日に開催した審議委員会において諮問どおり答申していただくことを決定していただき、翌17日に審議委員会正副委員長から教育長へ答申書が手渡されました。

以上が答申までの経緯となります。

2ページをご覧ください。

審議委員会でも確認していただいた指定の理由になりますが、守矢家は、諏訪上社の大祝を補佐し、諏訪上社五官の筆頭「神長官」として代々祈祷と政務事務を掌握してきました。

守矢家には、鎌倉時代以降の諏訪上社の神事に関する文書を初めとする1700点余の守矢家文書が残されています。諏訪上社と諏訪の歴史を知る上で欠くことのできない史料であり、155点が県宝、50点が市有形文化財に指定されています。

また、屋敷地には、市指定文化財の「神長守矢家祈祷殿」「神長官裏古墳」「神長官邸のみさく神境内社叢」のほか、守矢家の祀る御頭御社宮司総社と江戸時代前期以前の作庭とされる庭園があり、守矢家の歴史的景観が保たれています。

守矢家文書の保存・公開施設である茅野市神長官守矢史料館の建設に先立って発掘調査が行われ、その成果から鎌倉時代には邸宅が存在したと考えられています。

守矢家文書「古今家談」の「明治五年前家屋建物ノ図」によると、現在の守矢邸のある場所に、勅使の間と、それに関連する部屋のそろった建物があり、その西南側に続いて居宅が建てられていました。

現在の守矢邸は、昭和4年に改築されましたが、寛政4年の部材を使い、式台玄関、使者の間、大広間、勅使の間が再現されており、江戸時代の建築空間と神長官の住まいを今に伝えています。

諏訪上社の神長官を務めた守矢家の屋敷地を、守矢家と関わる文化財と一体的に保護し、後世に継承するため、「神長官守矢邸跡」として市史跡に指定するものです。

この内容をもとに説明看板を作成したいと考えています。文化財の指定は教育委員会で決定していただくことになります。答申どおり「神長官守矢邸跡」を茅野市指定史跡として指定してよろしいかご審議のほどよろしくお願いします。

なお、決定指定していただきましたら、告示をもって指定となりますので、ご承知おきください。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

茅野市史跡に指定するということによろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

次に議案第 6 号「参議院長野県選出議員補欠選挙に伴う施設の臨時休館について」お願いします。

生涯学習課長

資料はありませんので、口頭で説明をさせていただきます。

参議院長野県選出議員補欠選挙が 4 月 25 日に執行されることとなりました。それに伴いまして中央公民館が投票所に指定されており、選挙管理委員会より 4 月 25 日の投票日と前日の 4 月 24 日において借用の依頼がきました。

つきましては、茅野市公民館管理規則第 8 条におきまして、臨時に必要な場合は教育委員会に承認を経て休館日を変更することになっておりますので、今回の 4 月 24 日と 4 月 25 日を中央公民館の臨時休館としてよろしいかお諮りします。

教育長

ありがとうございました。

承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

今回、検討事項はありませんので、次にその他 1 「臨時教育委員会の開催について」お願いします。

学校教育課長

資料はありませんので、口頭で説明させていただきます。

臨時の教育委員会を 3 月 2 日の午後 5 時から教育長室で開催したいと思います。

ご予定をお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

次にその他 2 「永明小学校永明中学校建替え事業の進捗状況について」 お願いします。

建設課長

永明小学校永明中学校建替えに伴う周辺道路の整備についてご説明させていただきます。
お手元の A3 カラーになっております平面図の資料をご覧ください。

市役所裏通線と標記されている部分に現在は永明小中学校入口の交差点があります。そこから北へ向かってビーナスラインへ抜ける一方通行の道を一体的な学校用地とするため、建替えに伴い車が通れないようになります。これが発端となり、道路の機能回復と今後の将来を考え、茅野駅東口からビーナスラインへ普通車及び大型車が通行できる新幹線道路を計画させていただきました。

また、ビーナスラインから、ちの保育園、ちの地区コミュニティセンターへのメイン入口としまして、塚原 1 丁目、デニーズさんの交差点があります。現在は一方通行でしか通れない道ですが、交差点から交互通行としメインに流入できるよう計画をさせていただきました。

それに伴いまして、本来ですと永明小中学校に通う生徒及び保護者が米沢方面からも来られると思いますが、久保田建設さんがある狭い市道を永明小中学校の建替えに伴い、用地の拡張ということで現道の一部なくす方針です。そのため北側に現道の付け替えを行い、この道路から入ってきても機能を損なわないよう計画をしています。

また、市役所裏通線の永明小中学校入口交差点から入る道につきましても、行き止まりとなってしまいますので、学校入口で回転体を設け、車の往来ができる道路づくりと歩道を整備したいと考えています。

この計画につきましては、昨年 1 月 9 日に塚原区に概略と道の大まかな位置をご説明させていただきました。その後、関係者や機関等と計画の調整を行いまして、現在このような概略設計に至っています。

また、地権者につきましては昨年の 8 月から今年の 1 月半ばまで、路線沿線沿の地権者のご協力をいただき、境界立ち合いを終えているところです。

今回の概略設計の公表につきましては、事前に沿線沿の地権者の皆様に事業の概略と道路計画の説明をさせていただいた中で、公表することについてご理解をいただいています。

地権者の皆様は境界の確認及び確定ができただけであって、事業の詳細についてはこれから詳細設計を進める中で具体的に交渉を進めていきますので、ご理解をいただきながら、資料の確認をしていただきたいと思います。

都市計画係長

資料1 ページ目をご覧ください。さきほどの路線計画図と合わせてご確認ください。

幅員について、新設幹線道路①では道路両側に歩道が付き、②については、片側歩道となります。②につきましては、現道の東側に歩道を追加した拡幅工事を計画しています。

①につきましては、当初の予定では歩道を櫻井内科さんからオギノまで繋ぐ予定でしたが、櫻井内科からオギノまでの渋滞が予想されることや、道幅が狭いというような懸念もあり、警察の方からもご指摘があったことを踏まえて、このような形で計画をしているところです。よって、両側に歩道がつく路線については、市民館東側4差路の交差点から櫻井内科さんまでとなっております。

ちの地区コミュニティセンターからちの保育園間の路線については、現道を残しながら学校用地側へ歩道を拡幅し、学校のまわりを歩行者が安全に通れるよう計画をしています。

さきほどの説明でもありましたが、市役所裏通線については、現在の一方通行の入口から沿線の方々が利用することを考え、回転広場を設けて車の往来ができるように計画しました。

事業のスケジュールについては、令和3年度から令和5年度にかけて道路用地の取得等の話を進めさせていただき、進捗状況によりますが、令和5年から令和7年にかけて工事を実施していきたいと考えています。完了は令和7年度末を目指しています。

道路の説明については以上となります。

学校教育課長

続いて、永明小学校永明中学校建替え事業の進捗状況について説明させていただきます。

資料3 ページをご覧ください。

建物構造は鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建てとなっております。

面積については、ご覧のとおりとなります。

概算見込みの事業費についてですが、総事業費を7,854,011千円として計上しています。こちらについては、学校の建設に関わる外構工事や建設費用のみとなります。この他に用地取得費用、道路整備費用、遺跡発掘費用などが含まれます。

次に建物の基本設計についてですが、次のページにA3の配置図兼平面図があります。こちらを見ながらご確認いただきたいと思います。

基本事項としまして、児童生徒にとって最良な施設となるように、環境、広さ、安全、衛生等の項目を最優先に検討し、国の定める最低基準については十分に満たした設計としました。

建物の配置についてですが、敷地北側の現永明中学校グラウンドに校舎、敷地北西に社会体育館、敷地南東にアリーナを配置することで、仮設校舎をつくらずに建て替え工事を行う計画としました。校舎と西側ちの地区コミュニティセンター及び家庭教育センターは、連携を図るために往来ができる形を考え、その間に交流プラザを設けています。社会体育館を含め、各種行事ができるように考えています。

また、ちの保育園との連携を考え、交流プラザから続く校舎北側のスペースを保育園小学校中学校がつながる交流スペースとして考えています。

新校舎の南側には、現在の小学校グラウンド及び校舎部分にメイングラウンド。新校舎の東側には、現在の中学校校舎がある部分にサブグラウンドの配置を考えています。

北側の用地を拡張した部分については、保育園の保護者の利用を考え、駐車場の利用を考えています。

続いて、建物の平面計画につきましては、自然通風に配慮し、1階は北西の卓越風に対して開けた平面形状としました。西側から入る形として、校舎棟の間に2つの中庭を配置しています。

昇降口については、歩行者用通路に面して配置し、登下校時の混雑を避けるため、小中に分けて計画しました。

小学校低学年の普通教室は、接地性に配慮し1階に配置しました。

職員室は構内の防犯に配慮し、歩行者用通路・各グラウンドへ見通しの良い位置に配置しました。小学校中学校共に同じエリアに配置しています。職員室のとなりに保健室、その隣に通級指導教室を設けています。北側の棟には給食室、美術室、技術室等の特別教室を配置しています。

2・3階は8の字型の平面形状とし、北側に中学校の普通教室、南側に小学校の普通教室を配置しています。いずれの部屋につきましても、南側に窓を設けて採光に配慮しています。東側に小学校及び中学校の特別支援学級を配置し、普通教室との連携が容易にとれるよう配慮しています。西側には音楽室、理科室、調理室などの特別教室を配置しています。中央にメディアセンターを配置し、図書館を中心とした発表の場などを想定したプレゼンテーションスペースも設けています。校舎の真ん中に配置することによって各エリアからのアクセスを容易にし、交流の拠点となる場を想定しています。3階については、2階と同様に北側に中学校の普通教室、南側に小学校の普通教室、東側に特別支援学級、西側に特別教室を配置しています。3階中央にはラーニングスペースを配置し、多目的に使用できる部屋としてランチルームや学年集会、児童会、生徒会等活動を行う場として考えています。

社会体育館及びアリーナについては、外へ出ることなく校舎から直接行き来できるようにしています。社会体育館は校舎の2階から、アリーナは校舎の3階から行けるような配置としました。社会体育館及びアリーナ共にステージを設けており、バレーボール、バスケットボールのコートを2面取れるような広さとしています。器具庫、トイレ、更衣室等も設けています。なお、社会体育館については、学校で使うだけでなく地域の社会体育館として多目的な利用を想定しています。社会体育館及びアリーナ共に基本避難所となりますので、社会体育館は特にちの地区コミュニティセンターと連携がとれる位置にあることから、より充実した避難所機能を置けるように、実施設計の段階で詳細を計画したいと思います。

次に資料7ページの鳥瞰図をご覧ください。

①から説明させていただきます。南東側から入り、ロータリーの上部から北側に向けて見た図を表しています。校舎全体の配置のイメージとなり、奥に見える山が永明寺山となります。ご覧のように屋根は傾斜をつけ、周辺の建物と調和がとれるような配慮をしています。

②については、南西外観図となりますがメイングラウンドの西側から校舎を見た図となります。一番南側の建物がアリーナとなっています。校舎とメイングラウンドの間には水路が書かれていますが、こちらは現在の永明小学校校舎と永明中学校グラウンドの間に流れている水路となります。浸水機能を持つ水路にしていきたいと考えています。また、図には桜が書かれていますが、現在ある木をなるべくそのまま使っていきたいと考えています。

③については、校舎2階中央の棟に計画をした、メディアセンターが書かれています。開放されたスペースの他、静かに会議や閲覧をできる空間をつくりたいと考えています。

④については、プレゼンテーションスペースが書かれています。メディアセンターを発表の場として、2階3階を吹き抜けとすることで階段状の客席を設け、大きな空間の中で表現の場を創出しています。児童生徒の発表の場、また教職員の研修等でも利用ができるかと考えています。

⑤については、ラーニングスペースが書かれています。3階中央に位置し、多目的に使える部屋となっています。体育館では広すぎるような学年集会などで使用できるように考えています。

⑥については、低学年普通教室が書かれています。1階の1・2年生の教室をグラウンド側から見たイメージを書いてあります。教室で過ごすことが多い低学年の教室では、通常よりも広いスペースで設計し、手洗い場を設けています。

⑦については、高学年普通教室が書かれています。小学校3年生から小学校6年生までの教室をイメージしています。普通の教室空間にプラスし、ワーキングスペースを設けています。イメージの手前側がワーキングスペースとなりますが、授業の場面に応じてグループごとに分かれた学習や作業を行う場合など、また、新型コロナウイルスなどによる間隔をあけて授業をする場合などにも利用ができるかと考えています。

⑧については、アリーナが書かれています。絵にあるように木材を使った小屋組みを現在検討しています。

建物全体についてですが、木材を多く利用した温かみのある空間を作っていきたいということ考えています。

4ページをご覧ください。建設スケジュールについて説明させていただきます。

本年度から令和7年度までのスケジュールを記載させていただいています。本年度から来年度末にかけて実施設計を行い、その後、年末に工事請負契約をする予定です。令和4年4月から本格的な工事に着手したいと考えています。

まず、永明中学校のグラウンドに小中一体型の校舎を建設し、工事は約2年間で予定しており児童生徒が新校舎に入るのは令和6年4月を予定しています。また、令和5年度には社会体育館の建設、令和6年度にはアリーナの建設及びサブグラウンドの整備、令和7年度にはメイングラウンドの整備等を行い、全ての工事の完了は令和7年度を予定しています。

児童生徒が生活をしながらの工事になることから、新しい建物をつくり、引っ越しを行い、古い建物を解体していく手順で進めています。

永明中学校のグラウンドについては、先行して工事をする必要があることから、グラウンドの使用が早い段階からできなくなります。その間の体育の授業や部活動につきましては、運動公園の使用を主としていますが、永明小学校のグラウンドや他の学校のグラウンドと調整をしながら使用をすることも考え計画をしていきたいと考えています。

また、学校の敷地につきましては、永明小学校グラウンド遺跡に指定されていますので、工事に先立ちまして、遺跡の発掘調査が必要となります。遺跡の発掘調査につきましては、令和3年度当初から永明中学校のグラウンドにおいて調査を進めていきたいと考えています。

最後に外壁等の材質や細かい事項につきましては、現在進めています実施設計の中で検討を進めていきたいと考えています。また、学習に関わることににつきましては、学校の先生方とヒアリングを行いながら検討をしていきたいと考えています。

なお、この建替えでは小中一体型の校舎で小中連携がとりやすい建物となっていますが、永明中学校では通学区の設定で米沢小学校と豊平小学校の児童も永明中学校へ入学しています。スムーズな学校生活が送れるような配慮が必要と考え、基本構想基本計画策定段階から策定委員会で協議がされた事項であり、交流プラザや校舎内共有交流ゾーンを活用し、小学校の時期から永明小学校の児童や永明中学校の生徒と日常的な交流をする機会を設けるなど、スムーズな入校ができるようにしていきたいと考えます。

学校建築関係については以上となります。

文化財課長

次に資料9ページをご覧ください。

永明小中学校の建替えに伴いまして、永明中学校グラウンド遺跡の発掘調査を文化財課が実施してまいります。

発掘状況が建設スケジュールに影響を与えますので、文化財課としましては、対策を整え安全対策など充分配慮した上で実施をしていきたいと考えています。

また、発掘調査中、現地説明会を開催したいと考えています。発掘調査中は現場内への立ち入りを禁止したいと考えております。

永明中学校グラウンド遺跡の概要についてですが、以前発掘調査が行われたときに弥生

時代後期の竪穴住居址 2 軒が発見されています。そうしたことから弥生時代を中心とした遺跡ではないかと考えております。

発掘調査のスケジュールについてですが、発掘範囲を半分に分け、前半に東側の範囲を発掘調査し、発掘により出た残土を西側に積んでいきます。また、そうした残土が飛散しないようにブルーシート等で対策をとっていきたいと考えています。場所によっては 1 m を超える発掘となりますので、コーンを置くなど落ちないための安全対策を徹底した上で実施していきたいと思います。後半につきましては、西側の範囲を調査し、残土については東側に積んでいきたいと思います。

発掘調査については、11 月を目途に終了させていきたいと考えています。

文化財課からは以上です。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

勅使川原委員

道路の関係についてお願いします。建設に伴い、工事車両等が出入りすると思いますが、児童生徒などが登校などで同じ道路を使うということを考慮した上での歩道や道の幅員を計画したということでしょうか。

教育総務係長

道路計画図にある赤い線につきましては、これから学校と一緒に整備を進めていく道路となります。そうした場合、学校建築が先行し、その後に道路整備となります。道路工事では、主に令和 6 年、7 年度を予定しております。学校建築の際には現在の道路を使用していく予定ですが、現在の道路は狭かったり通学時の安全性の面からも仮設の建設用道路をつくれるよう検討を進めているところです。用地等の関係もありますので、ルートについては未定ですがそうしたことも配慮しながら建設を進めていきたいと考えています。

勅使川原委員

ありがとうございました。

もう一点お願いします。道路の歩道について、櫻井内科から片側のみ歩道とした理由についてもう少し詳しく教えていただけますか。

建設課長

現状の計画ですと、山高味噌さんの裏にある新設幹線道路①の区間につきましては、基本的には両側歩道の新設道路となります。

そこから先の新設幹線道路②につきましては、現道の歩道は狭いですが、東側に設置されています。今後は大型車両も茅野駅方面へ交通させるために道路を拡幅させる中で、工場や用地等の関係もありますので、基本的には現状と同じように櫻井内科からは両側に歩道を設置しないということで、計画はさせていただいています。この件につきましては、説明会等で質問もありましたので、建設課としても地元の意見を聞き、警察など関係機関とも交渉しながら用地の拡幅ができるようであれば、対応していきたいと思っております。

教育長

ありがとうございました。いろいろな課題がでてくると思いますが、解決に向けて努力したいと思います。

他にご質問等ありますか。

永嶋委員

規模が大きいため、全てを想像するのは正直難しい部分もありますが、道路の問題や学校の建物自体も必要があれば計画を考えなおすなど、できる範囲で検討してほしいと思います。

学校というところは、すごく備品が多いところだと思います。イメージ図では整理整頓がされており、遠くまで見渡せるようになっていますが、実際はもう少し状況が変わってくるのかなと思います。大きな問題ではないと思いますが、教室などの長所を活かせるように配置などを工夫していただきたいなと思います。

教育長

内部の配置等については、これから検討を進めていきますので、ご意見を参考にさせていただきます。

濱委員さん何かありますでしょうか。

濱委員

計画を拝見させていただき、街をつくる大きな計画であり、単純に学校を建替えるだけの計画ではないこともわかりました。

今回のコロナの関係で学校の設計変更をする部分も多少あるかと思いますが、そのことも含めて素晴らしい学校になるのではないかなと感じます。コロナの関係も併せて検討して欲しいと思います。

教育長

ありがとうございました。

矢島委員何かありますでしょうか。

矢島職務代理

一番最近だと長峰中学校が新しくなり、新しくする過程で成果と課題が出たと思います。

是非課題のほうを今後に活かしていただいて、永明小中学校がより良いものになってほしいなと思っています。

教育長

その他ありますか。

勅使川原委員

長峰中学校建設のときに体育館においてコート2面分を正式に確保することができなかったと思いますが、その課題も含めて今回のアリーナやサブアリーナなどの検討を進めてほしいと思います。

それぞれの低学年の教室と高学年の教室を見ると、すごく明るく広い教室で魅力的だと思います。教室との境界を透明ガラス等でオープンな感じにしており、場合によっては児童生徒が集中できないことも考えられるのかなと思いますが、どのような議論の上で、このようなイメージとなったのか教えていただけますか。

教育総務係長

体育館につきましては、両方の体育館でバスケット、バレーのコートを2面ずつ使用できる広さを計画しています。こちらの場所については、高さ制限が15メートルとなっております、どんな競技をどんな方々を対象に行うのかにもよりますが、一般的なバスケット、バレーにおけるコートは2面分確保しています。

教室のイメージ図については、開けた空間が授業にどんな影響を与えるのか等、今後の設計の中で先生方などとも検討を重ねながら決めていきます。

図などについては、イメージとしてご覧頂ければと思います。

勅使川原委員

ありがとうございました。

これからの議論が楽しみです。どうぞよろしくお願いします。

教育長

ありがとうございました。

他にご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

皆さんで知恵を絞りながら、新しいものをつくりあげていけたらと思います。

次にその他 3 「民法の一部改正に伴う成人式のあり方について」をお願いします。

生涯学習課長

その他 3 の資料をご覧ください。

なお、こちらの件につきましては、理事者協議を踏まえての報告となります。よろしくお願いします。

経過として国における状況ですが、平成 30 年 6 月に民法の一部改正により令和 4 年の 4 月 1 日から民法の定める成年年齢が 18 歳に引き下げることとなりました。

茅野市の状況については毎年、成人の日の前日の日曜日に成人式を開催しています。内容としては式典重視の厳粛な式を目指して実施しているところです。事業内容は令和 2 年の成人式については、昨年実施しました。令和 3 年の成人式はご承知のとおり 5 月に延期という形となっています。令和 4 年の成人式については来年の 1 月に現在 19 歳の方を対象としています。

したがって、成年年齢が 18 歳に引き下げられますと、令和 5 年の 1 月に 3 世代の方が同時に成年年齢に達することとなります。

対象年齢を 18 歳とした場合の課題としまして、大多数が高校 3 年生となるため、受験や就職により進路選択の時期となります。また、経済的にも親の経済的負担が大きいことや 3 世代が同時になると会場の運営等にも影響がでてくると考えられます。

対象年齢を 20 歳とした場合の課題としまして、法律上成年年齢に達したものに自覚を促すとともに成人となったお祝いの配慮が必要となってきます。また、式の名称につきましても「20 歳の集い」など新たな名称の検討も必要だと考えられます。

他の自治体の状況ですが、資料に記載の市ではすでに 20 歳ということで決定しています。諏訪郡内におかれましては、下諏訪町で決定となっています。

現時点で長野県内においては、18 歳を前提に検討している市町村は今のところ私の耳には入ってきておりません。

検討するにあたり実施した事項としまして、令和元年にアンケートを実施しました。当時の新成人や中学 3 年生、社会教育委員などを対象に行いました。

アンケート結果として、新成人の中では「20 歳を対象としたほうがいい」という意見が 77%、「どちらでも」という意見が 11 パーセントとなりました。中学 3 年生では「20 歳を対象としたほうがいい」という意見が 91%となっており、中学 3 年生の保護者におかれましては「20 歳を対象としたほうがいい」という意見が 95%となりました。有識者の意見として 11 人中 10 人が「20 歳を対象としたほうがいい」というアンケート結果でした。

考察として、20 歳を対象にしたほうがいいという方の意見ですが、この式の持つ意味を考えたときに民法上の成年年齢と合わせる必要はないとの意見でした。また、なぜ成人式を行うかという点に立ち戻ったときに、大人から庇護された状態から成人した大人として次世代を担ってほしいというエールを送る式であるというお考えの意見や新たに大人になる成人者に「ようこそ大人の仲間」という気持ちを伝える式だという意見がありました。また、お酒やたばこの規制が外部の大人からかかるということとなると、まだ一人前ではないことや全ての判断が自己判断に委ねられる 20 歳でよいとの意見がありました。アンケート結果を踏まえて当事者意見を反映するということであれば、現段階では 20 歳でいいのではないかという意見の方が 20 歳を推している理由です。

18 歳を推している方の意見としては、法律的に 18 歳は成年年齢となりますので、成人としての自覚と責任について認識する機会が必要だというようなご意見もいただきました。

結論として、今後の方針はアンケート結果を参考に令和 4 年度開催の成人式については下記のとおりとしたいと思います。対象年齢については 20 歳とし、平成 14 年 4 月 2 日から平成 15 年 4 月 1 日までの方を対象としたいと思います。実施時期については、従来通り成人の日の前日とし、式の名称は仮称としまして、「20 歳の集い」とし、今後名称は検討していきたいと思います。

18 歳の成人者についても対応が必要となってきますので、今後検討をさせていただきたいと思います。

以上のような形で茅野市として年齢は今後も 20 歳で進めていきたいということで協議をいたしました。

その他 3 については以上となります。

教育長

ありがとうございました。

質問ご意見等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他ありましたらお願いします。

こども課長

お願いします。お手元に行事予定のところでもお伝えさせていただきましたが、「どんぐりプラン推進のつどい」のご案内をご覧いただきたいと思います。

どんぐりネットワーク茅野が主催となって毎年行っているつどいとなりますが、今年度においては、3月15日にzoom会議という形で行います。

お二人の先生方から講演をいただいた後に質問等しながら行う形となります。現在、参加者の募集をしていますので、教育委員さん方もよろしければご参加いただき、一緒に講演を聞いていただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。

最後に事務局より次回の日程についてお願いします。

事務局

次回3月の予定についてご連絡します。定例教育委員会を3月26日（金）午前9時30分から8階大ホールで行います。事務局会議については、3月10日（水）午前8時45分から602会議室にて行います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。以上で2月定例教育委員会を閉会いたします。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和 3 年 3 月 26 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長